

秘密保全法に反対する愛知の会 御中

平成 26 年 3 月 24 日

◆秘密保護法に関し、4/5（土）総会へのメッセージ

「みんなで知る権利、報道の自由を守りましょう！！」

衆議院議員 中根 康浩

<事務局>

中根やすひろ事務所
岡崎市滝町字十楽 8-4

0564-46-3922

0564-46-3944

秘密保護法に対する愛知の会総会のご盛会を祝し心より
お慶び申し上げます。

私達生活の党は、秘密保護については国家公務員法や自衛
隊法と云ったところを改正強化することで十分と考えてお
ります。現在の特定秘密保護法では秘密の範囲があいまい
で時の権力者の自由裁量で決められる恐れがあり国民の知
る権利が失われるとともに、言論、表現の自由を制約し脅
かすものとなり得ると考えます。

法案阻止に向けて私達は一丸となって反対を致しましたが、
皆様ご周知の通り、強行採決という暴挙により可決されて
しまいました。

数の力で国民の声を封じた国会運営は断じて容認できるも
のではありません。

今後とも生活の党は皆様のご意見を拝聴しながらよりよい
国づくりに努力して参る所存でございます。

反対の運動を展開されておられる皆様に敬意と感謝を表し
ますとともに、本日の会が有意義なものとなられますこと
を心からご祈念申し上げ、メッセージといたします。

生活の党幹事長 衆議院議員 鈴木克昌

秘密保全法に反対する愛知の会 総会へのメッセージ

安倍内閣によって特定秘密保護法は強行されましたが、国民の反対の声は大きく広がっています。

通常国会が召集された1月24日は、特定秘密保護法の廃止を求める人々の国会包囲行動が行われました。約三千人が参加して、ヒューマン・チェーン(人間の鎖)となって、国会議事堂を包囲したのです。

私は、国会議員になって17年になりますが、通常国会の冒頭から、このような国会議事堂を包囲する大行動が組まれたという記憶はありません。

それだけ、国民の怒りが強まっていることを示しているのだと思います。

この法律は国民の目・耳・口をふさいで基本的人権をふみにじり、日本をアメリカとともに「海外で戦争する国」につくりかえるものです。

国権の最高機関である国会の調査権も制限しています。秘密会に参加した議員が、自分の所属する政党に持ち帰って議論することも、専門家に意見を聞くこともできません。

衆議院が1月に外国に派遣した調査団の報告でも、第三者機関が秘密をチェックしている国はなく、秘密指定や妥当性を議会がチェックしている国もないことが明らかになっています。

それなのに自民党は検討チームをつくって、3月上旬に、国会内に監視機関をつくることで大筋合意したとされています。その機関が特定秘密に関わる資料を、国会に提出するかどうかを判断するとしています。しかし、野党は民主党以外には参加できず、秘密を漏らした議員を懲罰の対象としたり、5年以下の懲役などを科すことが検討されています。

安倍内閣は、さらに集団的自衛権の行使ができるように憲法解釈を変更しようとしており、これらの策動をなんとしても打ち破らなければなりません。

特定秘密保護法は廃止するしかありません。皆さんとごいっしょに全力を挙げることを表明し、連帯のメッセージを送ります。

2014年4月5日 日本共産党衆議院議員 佐々木憲昭

「秘密法廃止 ここから」にお集まりの皆さま

皆さん、こんにちは！福島みずほです。

秘密保全法に反対する愛知の会総会、落合恵子さんの記念講演、そして秘密法に反対する全国ネットワークの全国交流集会に参加した皆さんに対し、心から連帯のあいさつを送ります。

安倍政権は昨年末、戦後最悪の法律である特定秘密保護法を強行採決によって成立させました。権力者の持つ秘密を徹底して守り、これに反対する市民に厳罰を課すこの法律は、日本を戦争のできる国に作りかえる、とんでもないものです。

事実、安倍内閣は今、集団的自衛権行使容認、武器輸出三原則見直しなど、戦争遂行体制づくりに向けて前のめりです。

こうした中、秘密保護法廃案に向けて奮闘する皆さんの取り組みは、日本の民主主義の行く末に大きく関わると言えます。みんなの力で、秘密保護法を絶対に廃案にしましょう！

本日そして明日の皆さんの取り組みが、大成功に終わることを心からお祈りしております。

これからもいっしょにがんばりましょう！

2014年4月5日

社民党参議院議員 福島みずほ

衆議院議員 阿部知子事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1

衆議院第1議員会館 424号室

Tel: (03) 3508-7303 Fax: (03) 3508-3303

Email: info@abetomoko.jp

秘密保全法に反対する愛知の会御中

メッセージ

秘密保全法に反対する愛知の会結成2周年総会にお集まりの皆さまに、連帯のメッセージをお送り致します。また、会の皆さまの2年間に及ぶ重要な活動に、心からの敬意を表します。

特定秘密保護法は、必ず廃止させねばなりません。法の施行準備にも待ったをかけねばならないと考えています。政府による情報隠しを容易にし、取材・報道の自由を侵害し、国民の知る権利を奪う法律が、強行採決という議会制民主主義をないがしろにした手続きで成立したことは憲政史上の汚点だと思います。また、この法律は行政官僚機構の肥大化と国会の無力化を招くので、主権在民がないがしろにされる恐れがあります。その先にどのような社会が待っているかを考えると、危機感が募ります。

皆さまの取り組みとも連携して、私も国会内で党派を超えて特定秘密保護法の廃止を実現すべく、力を尽くして参ります。本日の結成2周年総会と記念講演のご盛会と皆さまの今後の更なるご活躍をお祈りして、メッセージとさせていただきます。

2014年4月5日

衆議院議員 阿部 知子

愛知の会の皆さん、早くからこの悪法に警鐘をならし続けて戴いて有難うございました。

皆さんの活動のお陰で、危機を感じ、全国キャラバンに繋がりました。

この悪法がスタートしてしまえば、今よりも空気を読む世の中になってしまう。

恐がらず、逮捕者第一号になるつもりで政治活動して参ります。

安倍政権を倒して、多数派を形成して、秘密保護法廃止を勝ち取りましょう！

参議院議員 山本太郎

680

<input type="text"/>	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
秘選保全法に反対する愛知の会					
共同代表 本 秀 紀 様					
同 中 谷 雄 三					

<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	<input type="text"/>	午前	<input type="text"/>	午後	<input type="text"/>	なし
----------------------	---	----------------------	---	----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----

翌日以降の配達日指定をされた場合のみ配達時間帯希望が可能です。

(1) <input type="text"/>	(2) <input type="text"/>	(3) <input type="text"/>	(4) <input type="text"/>	将	慶	弔
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	---	---	---

454-0835
柳区八家町3-16
久野浩平
TEL (052)363-0111

総会のご盛会を
お祝い申し上げます

平和で自由で民主的な

日本をまもるため

共に頑張りますよう

民主愛知県連常任顧問
名古屋市会議員

久野浩平

メッセージ

秘密保全法に反対する愛知の会結成2周年総会にあたり、心より連帯のメッセージを送ります。

安倍内閣は、国民の各界各層から大きな不安と懸念の声が広がっていたにも関わらず、秘密保護法を強行可決させましたが、そのねらいは、防衛・外交をはじめ国政の重要問題で、国民の目と耳、口をふさぎ、日本を「海外で戦争する国」につくりかえることにあることは明らかです。

日本共産党は、「秘密保護法案」に断固反対し、この暴挙に強く抗議するとともに、同法の廃止へ、さらに世論と運動を広げる決意です。

憲法の基本原理を根底から覆す秘密保護法を何としても廃止させる。また、同法の施行準備は、直ちに中止させる。「廃止」の一点で、党派を超えて共同を広げ、廃止法案を提出する。そのために全力をつくすこととお誓いします。

秘密保護法廃止まで、ともに力を合わせ、がんばりましょう。

2014年4月5日

日本共産党名古屋市議員団

団長 わしの恵子

秘密保全法に反対する愛知の会2周年総会へのメッセージ

秘密保全法に反対する愛知の会2周年総会の開催にあたり連帯のメッセージをおくります。

昨年末、十分な審議もないまま強行可決された、秘密保護法の廃止・撤廃を求める世論は大きく広がっています。貴会の粘り強い活動も大きな力になっていると確信します。

「何が秘密か、それが秘密」という問題に市民は大きな不安と怒りをもっています。そんな声をさらに結集させ、「再び戦争する国づくり」へと、ますます暴走を強めている自民党安倍政権に対し、暴走ストップを！秘密保護法廃止を！と、一緒に力を合わせましょう。

名古屋市議員 わしの恵子

「秘密保全法に反対す愛知の会 2周年総会」へのメッセージ

国会がどんなに多数派を占めていても、あらゆる面で憲法に反する違憲立法の秘密保護法を国民に絶対に押し付けてはいけません。国民主権、基本的人権、平和主義を蹂躪し、その目的は、海外で戦争できる国にすることにあります。

民意に逆らう安倍政権に未来はありません。しかし、放っておいても事態はよくなりません。みなさんの「秘密保護法廃止」の意思を共通の意思として、ともに力を合わせ、秘密保護法を絶対に廃止させるために頑張りましょう。

日本共産党名古屋市議員 岡田ゆき子

4月5日の集会へのメッセージ

秘密保全法に反対する愛知の会結成2周年総会の開催にあたり連帯のメッセージをおくります。

秘密保護法の廃止・撤廃に向け粘り強く運動を続けている貴会の活動に敬意を表します。

日本国憲法のもとで、なによりも大切にすべき自由と平和、国民主権と民主主義を乱暴に押しつぶそうとする自民党安倍政権の暴走に対し、力をあわせて立ち向かいましょう。民主主義の政治とは、情報を広く公開し、主権者である国民が十分な判断材料を持って議論を積み重ね、政治的決定に関与するシステムのはずです。国を守るため、とさえ言えば何でも許される暗黒時代を、再びこの国によみがえらせるわけにはいきません。

この問題は国政だけでも問題ではありません。地方政治でも大きな課題です。

私が一部事務組合の名古屋港管理組合の議員としても関わっている名古屋港では、いまでもアメリカ軍艦の入港予定は秘密のベールに閉ざされており、入港24時間前でなければ市民に対し入港情報は公開されません。このルールには法律上や条約上の根拠は何もありません。港の軍事利用を許さない、非核の港を求める運動をすすめるうえでこの秘密保護法はさらなる障害をつくりだすこととなります。議会での追及さえ秘密保護法違反に問われかねません。

核持ち込みの密約とともに秘密保護法も撤廃させようではありませんか。

みなさんの運動がさらに多くの賛同を得て、大きく発展することを心から望みます。私も微力ながら力を尽くす決意を申し上げ、連帯のメッセージといたします。

名古屋市議員 山口清明